

玉掛け技能講習 練習問題

※下記問題は練習問題であり、学科試験と同一ではありません。

また、当センターの学科試験においても、下記のようにふりがなを振っております。

- 1 つり上げ荷重1t以上の移動式クレーンの玉掛け作業は、玉掛け技能講習を修了した者でなければその作業に就くことができない。
- 2 クレーン等の構造及び材料に応じて負荷させる事ができる最大の荷重を定格荷重という。
- 3 ワイヤロープ等を用いて、荷をクレーン等のつり具に掛けたり外したりする作業を玉掛けという。
- 4 積載型トラッククレーンのみならず、クローラクレーンや浮きクレーンも移動式クレーンに含まれる。
- 5 円柱の体積は縦×横×高さで求められる。
- 6 重心は物体については一定の点であり、重心の位置は物体の位置や置き方が変わっても変化しない。
- 7 物体に外部から作用する力（外力）を荷重といい、クレーン等で荷をつったときワイヤロープにかかる荷重をせん断荷重という。
- 8 安定度は安定モーメントを転倒モーメントで割った値で求められ、この値が1より大きいほど安定する。
- 9 ワイヤロープは一般的に良質の炭素鋼を線引き加工した素線を複数より合わせて作られている。
- 10 玉掛け用ワイヤロープの安全荷重は、つり角度が120度になるとおおよそ半分まで減少する。
- 11 クランプはフックやハッカーの代わりにもなるので便利である。
- 12 シャックルは締め戻しせず、しっかり締めた状態で使用すること。
- 13 荷の質量目測は多少小さめ（実物より10%程度）に目測した方が安全である。
- 14 つり荷の高さは原則として床上2m程度とするが、運行経路に障害物がない場合は、なるべく低い位置で運搬する。
- 15 巻き上げ時ワイヤロープを手で握ると危険である。
- 16 クレーン等の運転者に対する合図は、運転者から見やすく、かつ安全な場所にいる者であれば何人で行ってもよい。
- 17 玉掛け作業において、1本つりは荷が傾いたり回転する恐れがあるので禁止されている。
- 18 あだ巻きづりはつり角度が大きい場合、ワイヤロープが内側に引き寄せられるのを防止する有効な玉掛け方法である。
- 19 修了証を滅失したので、技能講習修了証の交付を受けた登録教習機関で修了証の再交付を受けた。
- 20 事業者の指示でクレーンにより労働者を運搬した。

- 1、○ 2、○ 3、○ 4、○ 5、× 6、○ 7、× 8、○
9、○ 10、○ 11、× 12、× 13、× 14、○ 15、○ 16、×
17、○ 18、○ 19、○ 20、×